

ホタルの光が自然を思いやる心につながる

ほたるフォーラムの中で阿久比町からは、「あぐいほたるの日」や「ホタルと一緒に自然を守らナイト」を制定し、毎年町民の皆さんにホタルの保護や自然環境の大切さを考える機会としてもらっていることや、土壌汚染防止条例を施行し、阿久比の水と土を守っていることなどを発表しました。アドバイザーの田中環境省自然環境局生物多様性センター情報システム企画官は「子どもたちにホタルの舞う幻想的な光景を見せてほしい。その心に刻まれた光景が、大人になってからも自然を思いやる心につながる」とフォーラムをまとめました。



ほたるフォーラムを行う参加市町の代表者

ホタルを育てる喜びとやりがいを受け継いで

東部小児童が活動報告

開会式後には、東部小学校の児童たちが学校での取り組みについて報告しました。同校では、全児童がホタルを通じて環境について学ぶ「ホタル学習」に取り組み、生き物委員を中心にホタルの飼育活動を行っています。

6年生の24人が、「ホタル学習」の経験をもとにして、日ごろ行っているホタルの飼育活動や全校で取り組む「ホタル学習」の様子について、スライドや動画を使って分かりやすく発表しました。途中でクイズも

組み込まれ、来場者にも参加してもらいました。「ホタルを育てるのは大変だけれど、幼虫がだんだん大きくなる様子を見るのはうれしい」などと、児童一人一人がホタルを世話する大変さや、やりがいなどを語りました。「下級生にはホタルを大切にする伝統を受け継いでほしい。これからもホタルとともに自然を大切にしていきます」「阿久比町をホタルでいっぱいにしたいです」という力強い宣言で発表が締めくくられると、来場者から多くの拍手が送られました。



活動報告をする東部小学校の児童たち



チアダンスで華やかなオープニング



サミットオープニングでは、チアダンスチーム「チアキッズGOGO」が、元気なダンスを披露してくれました。かわいらしく踊る姿が会場の雰囲気を華やかにし、サミットの始まりを盛り上げてくれました。

武田邦彦さんが記念講演

サミットを記念して、大学教授の武田邦彦さんが「私たちの生活と環境」と題し、講演を行いました。さまざまな学術研究や自分の人生経験を基にして、おもしろおかしく話を進め、「私たちも自然の一部分。自然が元気でないと、私たち人間も元気に生活できない。豊かな自然が人間の生活を豊かにする」と来場者に自然環境の大切さやよりよく生きるためのヒントについて話しました。

